

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103854
法人名	医療法人ビハラー 藤原胃腸科
事業所名	グループホーム アショカ
所在地	松山市南吉田町9 6 4 番地
自己評価作成日	平成21年11月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

スタッフが、日々のケアの中で、認知症ケアの理念・事業所の理念に基づき、疑問点などを話し合い、入居者がよりよい生活ができるように、環境づくりに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、この一年間、「地域とのつながりを作ること」に力を入れて取り組まれており、小学校の運動会を見学に行かれ、校長先生との交流がきっかけとなり、小学生の福祉体験の受け入れにつながっている。利用者の方達が小学生とふれ合ったことが、利用者の意欲向上につながり、利用者が自ら希望を言うような姿も見られるようになったようである。近隣の方とはフェンス越しにおしゃべりされたり、雛人形を譲ってもらったり、畑作りを協力していただいている。管理者は、地域に向けて「勇気を出して事業所側が1歩踏み出すことでつながりができた」と話されていた。

介護計画とは別に、「ご本人の願いを叶えるプラン」を作成されており、「温泉に行きたい」というようなご本人からの希望を叶えられるよう、計画を立てて支援されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム アショカ

(ユニット名) 月輪

記入者(管理者)
氏名 高橋 正子

評価完了日 平成21年10月15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念をスタッフルームに掲示し、いつでも確認できるようにしたり、目標に入れたり、日々の業務に生かされるようにしている。	
			(外部評価) 事業所では「一人ひとりの思いを汲み取って生活を豊かに」「人としてあたりまえの関わりを支援」と理念に掲げておられ、又、行動指針や月目標を立て、日々実践できるよう取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 庭の手入れを手伝って頂いたり、貼り絵を教えて頂いたり、避難訓練に参加して頂いたりし、交流を図っている。また、ホームの花火大会には、近所の方々・子供たちに来て頂き、交流を図っている。小学校の運動会も見に行き、地域の知人との会話も楽しまれた。	
			(外部評価) 事業所では、この一年間、「地域とのつながりを作ることに力を入れて取り組まれており、小学校の運動会を見学に行かれ、校長先生との交流がきっかけとなり、小学生の福祉体験の受け入れにつながっている。利用者の方達が小学生とふれ合ったことが、利用者の意欲向上につながり、利用者が自ら希望を言うような姿も見られるようになったようである。近隣の方とはフェンス越しにおしゃべりされたり、雛人形を譲ってもらったり、畑作りを協力していただいている。管理者は、地域に向けて「勇気を出して事業所側が1歩踏み出すことでつながりができた」と話されていた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で医師より勉強会を開いて頂き、理解を求めたり、公民会の集まりで理解を求めたり、法人で地域フォーラムを継続して開催し、認知症の方とそうでない方とのバリアーがなくなっていくように、努力を重ねている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議で、毎月発行している写真・コメント入 りのお便りをもとに、サービスの実際を報告して おり、それについて話し合いをもっている。頂いた意 見・情報などは、回覧やカンファレンス時に伝達し、 サービスの向上に活かすことができている。</p>	
			<p>(外部評価) 会議では、地域の方から行事等の情報を教えていただ いたり、事業所の取り組みを報告して質問等に答えて おられる。又、法人代表者である医師が必ず出席され 「新型インフルエンザについて」や「高齢者の運転免 許証の更新について」等、毎回、テーマを変えてお話 をしてくださっている。会議時、利用者も参加されて おり、発言されることでご本人の自信の回復につな がったようである。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議に、市職員・包括支援センター職員・市 社会福祉協議会職員が参加して下さり、日常の取り組 みを報告・相談している。ボランティアのお願いや受 け入れの相談など、現在のケアに活かされてきてい る。</p>	
			<p>(外部評価) 地域包括支援センターの担当者の方から地域住民の情 報を得て、相談しながら傾聴ボランティア等を受け入 れられたり、又、管理者は、センターからの相談を受 けて、地区の集会所の「認知症予防教室」でお話をさ れた。さらに、認知症介護の指導者として県内外で講 師を務められ、認知症ケアの向上に貢献されている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 法人内の、高齢者虐待・身体拘束の研修をほとん どのスタッフが受けており、「指定基準における禁止 の対象となる具体的な行為」については、正しく理解 できている。転倒防止のやむをえない場合や、スタッ フが少ない時間、必要最小限の玄関施錠があるが、そ の他はない。</p>	
			<p>(外部評価) 職員は、法人内の研修等で「身体拘束」について勉強 をされている。ユニットによっては、現在、利用者が 落ち着かない様子でもあり、職員が利用者の居室内で ケアをされていたり、トイレ介助にかかわるような時 にのみ、利用者の安全を守るためにユニット出入口 に鍵をかけるようにされている。利用者のベッドから 降りる足元には、センサーマットを敷いておられる。</p>	
				<p>管理者は、今後、利用者が不安定な時には、見守りと 職員同士の声かけの工夫で鍵をかけなくても済むよ う、取り組んでいきたいと考えておられる。この機会 に、利用者の自由と安全を守る取り組みについて、す べての職員で話し合ってみてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 法人内の、高齢者虐待・身体拘束の研修をほとんどのスタッフが受けており、「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」については、正しく理解できている。管理者・スタッフ共に、虐待が見過ごされないように、細心の注意を払っている。虐待が起きないような雰囲気づくりや環境づくりに努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 法人内で勉強会をしたり、対象者がいる場合には、話し合いの機会をもっている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入退居時の契約の締結・解約には、管理者が対応しており、利用者やご家族の不安や疑問点を訪ね、十分な理解ができるように、説明をしている。介護保険の改定の際には、文書・又、面会時や電話にて、説明するようにしている。タイミングがあれば、家族会にて説明したいと考えている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 年2回家族会を開き、意見等頂いて、運営に出来る限り反映させている。 (外部評価) 法人内の2つのグループホーム合同で便りを発行されており、11月で89号目となっている。ユニット入口には、新人職員の紹介を写真付きで掲示されたり、ご家族が来訪された際には新人職員はあいさつされている。評価機関から送付する家族アンケート集計表を用いて、ご家族の思いや要望の把握に努めておられる。	家族会を年に2回開催されているが、現在、ご家族からご意見等をいただくことは少ないようである。今後、管理者は、事業所のサービスについて、具体的に問いかける等、ご意見を引き出せるよう、働きかけを工夫していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	出来る限り、意見や要望を聞く機会はあるが、様々なことの調整や案件によって、全てを反映することは、難しい。 管理者やユニットリーダーは、職員によく声をかけて、悩みや不安を聞き取り、メンタル面でもサポートされている。2か月ごとの法人内研修は、年間計画を立てて取り組まれており、事前に職員の受けた研修の希望を聞いて採り入れてもらえるようになっている。又、事業所のカンファレンス時、職員の勉強会をされたり、法人内の相互研修等も行う予定となっていた。
			(外部評価)	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	遅出の時間は、その時々の入居者の状態によって調節させてもらえる。(食事介助などのため) 正規職員をもう少し増やしてもらえれば、もっと1人ひとりが向上心・責任感を持って、働くことができると思う。
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	多様な研修を受けることができるようにしている。
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	相互研修など実施し、お互い交流を図り、カンファレンスなどで情報共有して、サービスの向上に努めている。
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	入居前に、スタッフ全員で情報確認して、入居時にはコミュニケーションを大切に、信頼関係を築けるように、努力している。
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	<p>面談等を行い、家族の不安を聞きながら、関わりを持ち、関係作りに努めている。</p>
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	<p>本人・家族の思いを伺い、スタッフ間でも話し合い、「その時」必要な他のサービスも視野に入れた対応に努めている。</p>
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>本人を介護される一方の立場におかず、お互い支え合う関係を築いていると思う。</p>
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>面会時に近況報告を行ったり、若い頃の本人の暮らしなど教えて頂き、ケアに活かしている。</p>
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	<p>馴染みの人からの面会・電話などで関係は途切れていない。又、スタッフもいつでも訪問や電話してもらえるように、声かけを行なって、途切れないよう支援している。</p>
			(外部評価)	
			<p>外出時にご兄弟のところに寄ってみられることもあ る。お孫さんが写っている大判の写真を居室の壁に何枚も貼っておられる方やベッドの枕元に写真を置いておられる方もあり、顔を覚えていられるよう支援されている。ご夫婦で入居されている方には、夫婦で過ごす時間を大切にされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 業務の中で関係を把握し、特に意思疎通が難しい利用者同士に対しての関わりを大切に、コミュニケーションが取れるよう配慮している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 死亡により退去となった方へ、写真をお送りしたり、グリーフケアに努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限り、本人の立場に立って努力しているが、希望に添えないことも稀にある。 (外部評価) 事業所では、この一年「個別ケア」に向けて、利用者個々の思いを探ることに力を入れて取り組まれた。センター方式のアセスメント書式を用いて、ご本人の現在の希望等を書き留めておられた。又、日々の「ケース記録」には、「利用者の訴え」「職員の対応」「その後の様子」等を記入する欄が設けてあり、ご本人の言葉をそのままに記入して、利用者個々の思いの把握に努めておられる。	管理者は、今後さらに、職員のご本人への問いかけや働きかけの工夫を重ねて、ご本人の希望や思いを引き出し、ケアにつなげていきたいと考えておられた。又、「利用者とゆっくり過ごすような時間を作ることに努めていきたい」と話しておられた。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族から、話を聞かせてもらい、把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一緒に過ごす中で、心身の状況を知り、把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人・家族の意向を確認、カンファレンスで情報交換し、どんな生活がいいのかよく検討して、介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は3カ月ごとに見直しをされている。日々の「ケース記録」から、ご本人の思いや意向を拾い出し、職員の気付きと、ご家族の来訪時やお電話で聞き取った要望を「立案シート」の5つの視点に沿って書き出して、介護計画を作成されている。介護計画とは別に、「ご本人の願いを叶えるプラン」を作成されており、「温泉に行きたい」というようなご本人からの希望を叶えられるよう、計画を立てて支援されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気づきは、赤ペンで線をひきわかり易くし、次のケアにつなげていけるように記録している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その時の状況に合わせ、柔軟な対応をしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域との関わりは、まだ道半ばであるが、まずは入居者を知ってもらうことから始めて行きたい。地域の中のホームの役割も検討中である。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			定期的な往診や、必要時には速やかに、通院して受診 できるよう支援している。	
			(外部評価)	
			訪問マッサージを利用されている方もある。調査訪問 時、退院された利用者があり、母体法人の医師が様子 を見に来ておられた。24時間いつでも医師と連絡が 取れるようになっており、又、いつでも相談できる体 制となっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			職場内の看護師と相談し、適切な受診や看護ができ るよう支援している。	
			(外部評価)	
			職場内の看護師と相談し、適切な受診や看護ができ るよう支援している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			協力病院と情報交換し、関係づくりができてい る。	
			(外部評価)	
			協力病院と情報交換し、関係づくりができてい る。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			家族と早い段階から話し合い、できるだけ本人・家族 の希望に添ってケアにあたっている。	
			(外部評価)	
			ご家族は「事業所で最期までお願いしたい」と希望さ れる方も多くある。又、ご本人の希望にも応じて、事 業所では看取りまで支援できるような体制を作ってお られる。職員も、方針を理解して取り組まれており、 法人内研修等でも勉強を重ねておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変や事故に備え、プリントには目を通してはいるが、急変時には慌ててしまうので、定期的に緊急時対応の勉強会を行なっていきたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回、避難訓練を行なって災害に備えている。地域との協力体制もできている。	
			(外部評価) 避難訓練には、地域の方も参加いただき実施された。消防署の協力も得て水消火器を使って実際に消火訓練等もされた。地域の方達も含めた緊急時の連絡網を作られ、利用者が中庭に避難した際の誘導を地域の方にお願いされている。いざという時の避難のために「居室で横になって長時間過ごされている方にはタンカがあったらいい」と地域の方から毛布と竹で作るタンカを教えていただき、山で採って来てくださった竹を居室に置いておられる。22年度にはスプリンクラーを設置する予定となっていた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりに合った声かけを行っており、馴れ合いになってしまわぬよう、スタッフ同士声かけあってケアにあたっている。	
			(外部評価) 事業所では「家庭的な雰囲気作り」を目指しておられる。職員は、「利用者との距離が近く、家族のような関係」と感じておられる。利用者の呼び方に関してご本人の希望やご家族の了解を得て「ちゃん」と呼ばれることもある。	職員は、親しみを込めて利用者をお呼びされるが、時に、「馴れ馴れしくなっているのではないか」と感じることもあるようである。この機会にご本人の立場に立って、すべての職員で意見交換されてみてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) できる限りの範囲で、自己決定ができるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その日の流れを優先してしまい、なかなか一人ひとりのペースに合わせてはできていない事もある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 自立されている方は自分で整容・おしゃれおられる。自分ひとりで困難な方は、洋服を一緒に選んだり、好みも取り入れられるよう、支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜を切ったり、盛り付けをしたり、一緒に準備している。後片付けも役割分担しており、みんな活き活きとされている。 (外部評価) 職員が順番で、利用者の好みを聞き取り、過去の献立表等も参考にしながら1週間分ずつ献立を立てておられる。食事担当の職員がおられ、買物等もされている。畑でネギや春菊を摘んで使われることもある。テーブルにとろみ剤が用意されており、必要に応じて職員がとろみで調節しながらご本人が食べやすいよう支援されていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分量の記録や食事量など把握し、一人ひとりの状態を把握している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、必ず口腔ケアを実施している。うがいのできない方は緑茶使用している。本人の力・能力に応じた口腔ケアを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)		
				排泄パターンを把握し、出来る限りトイレで排泄できるよう心がけている。	
			(外部評価)		
				下着を洗って居室に干される方もいる。昼間は布パンツにパットを利用して、できるだけトイレで排泄できるよう誘導されている。職員は、外出の前や後等、タイミングやご本人の気分等を見ながらトイレに誘うよう工夫をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)		
				便秘気味の方には、ヨーグルトや乳製品をとって頂き、個々に応じた予防をしている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)		
				入りたい人は、夜間入浴を実施している。一人ひとりの入りたい時間にはなかなか添えていないと思うが、入浴中のコミュニケーションを図りながら、楽しい時間にできるようには努力している。	
			(外部評価)		
				ご自分で入浴される方はいつでも入れるようになっている。入浴時、職員は、好きな歌と一緒に歌ったり、ご本人の関心のあるようなお話を聞かせてもらったり、入浴剤を入れる等、ご本人が「気持ちいい」と思えるような支援に努めておられる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)		
				夜間眠れていない時など、状況に応じて少しの時間でも休息をとってもらおうようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬中の薬の作用・副作用を記入したものを準備しており、いつでも目を通せるようにしている。新しい薬の服薬直後には、副作用などに注意している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) その人の生活歴や力を活かし、得意分野で活躍してもらえるように、役割をもっていただいている。嗜好品も楽しめたり、外食・喫茶店にも出かけている。季節を感じて、気分転換できるように配慮しながら支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) できるだけ戸外に出かけられるように努めているが、全員、その日の希望通りには難しい。本人の体調や気分の良いときは、1対1で出かけることもある。外食・喫茶店・いちご狩りや盆踊り・小学校の運動会など、楽しく外出できるよう、家族にも声かけして、一緒に支援している。	
			(外部評価) 毎月、外出の計画を立てて石手寺や喫茶店等に出かけておられる。ご家族と外食やドライブに出かける方もある。又、お天気の良い日には、中庭で日向ぼっこやおやつをしまれたり、畑のお世話や洗濯物を干しに出られる方もある。10月は「外に出よう」と目標を立てて散歩等、日常生活の中で実践できるよう取り組みました。	「一人ひとりの思いを汲み取って生活を豊かに」という理念にも沿って、ご家族とも相談しながら、利用者が地域の中に出かけ、さらに、利用者の生活をより豊かにできるよう工夫を重ねていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 入居者のこづかいは事務所で預っているが、本人で若干のお金を管理しておられる方もいる。外出時など、自分で払える方は使えるよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 必要時には、電話ができたり、手紙がかけたりできるよう、声かけしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>テレビの音や光・温度の調整を、不快感がないようにし、木のぬくもりを感じながら、生活感や季節感を楽しみながら生活できるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>畳の間の仏様のお供えもののお世話をしてくださる方もいる。アイランド型のキッチンで全面から食事作り等にかかわることができるようになっており、食器洗いが役目になっている利用者の方や洗った食器を拭いたり、戸棚に片づけられている方も見られた。今後、すべての利用者、職員で手分けして年末の大掃除を行う予定となっており、介護度重度の方にも号令をかけてもらう等の役割を持ってかかわっていただけるよう分担表を作り、貼っておられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用空間でひとりになれるところもあり、又、皆と一緒に過ごせる空間もあり、その時の本人の思いによって過ごす場所が選択できるようになっている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>仏壇やなじみの家具を持ち込んでもらって、落ち着ける空間づくりに努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>長時間ベッドで横になって過ごされる方には、希望をお聞きしながらテレビの音やラジオ、音楽等、耳で楽しめるように支援されている。お仏壇に毎朝ご飯を供えたり、しきびの水替えをされる方もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>手すりを設置や、居室の表札・トイレ入り口に張り紙などして、安全でできるだけ自立した生活ができるように工夫している。</p>	